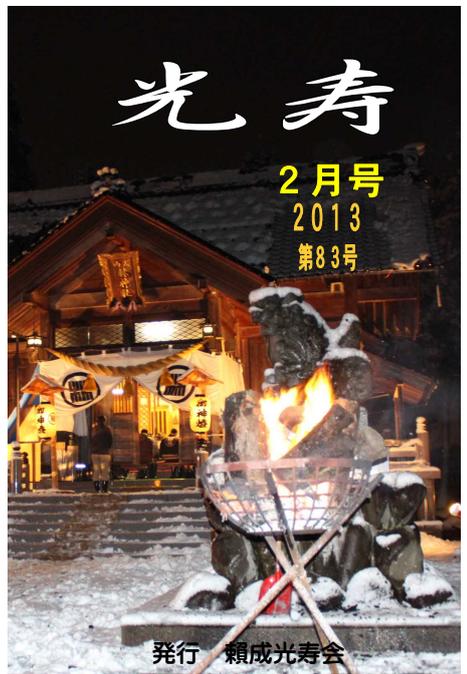


光 寿

2月号
2013
第83号



発行 頼成光寿会

日本再生と氏子の隆昌を祈願して

延喜式内 頼成林神社の歳旦祭

平成二十五年は、牡丹雪の降る中であけました。午前0時前に消防団の方々が消防車で到着、新年のお祓いを受けられました。やがてかがり火の焚かれ凛とした空気の張りつめた境内に、三々五々初詣の人たちが訪れはじめました。



午前五時から八田悠希さん（茂興さん左）、坂東千晶さん（國香さん左）、中井麻衣さんら三人の巫女さんたちも奉仕して歳旦祭が斎行され、合わせて白寿、喜寿、古希、還暦、厄年の方々のお祓いが行われました。式後宮司さんから、歳旦祭の齋行に当たつて宮委員さん方の並々ならぬ尽力があつたことへの謝辞と、いろいろな意味で今年が日本再生の年であつて欲しいこと、あわせて氏子各位のいっそうの弥栄を祈念するところのご挨拶がありました。



お正月の伝統的な民俗行事左義長が、今年も一月十四日公文名で行われました。左義長の起りについては以前にも一度触れたことがあり

季節のうた

寒明けと言えど老いにはまだ明けず

林 香月子

次のお当日お祓いを受けられた方々のご芳名は



八田貴弘さん 林 恭功さん
永田一成さん 林 貴規さん

白寿 林あや子さん
喜寿 堀尾孝雄さん
古稀 林逸子さん
武部 敏子さん
林 邦子さん
還暦 齊藤一夫さん
齊藤 繁範さん
林 浩實さん
林 繁樹さん
八田 俊樹さん
林 廣治さん
厄年(四十二歳) 坂東 久さん
坂東 栄さん
八田 麻紀夫さん
林 純康さん
林 志博さん
厄年(三十三歳) 林 昭友子さん
厄年(二十五歳) 島 大賀さん
島 一之さん

伝統の炎あかあかと

公文名で今年も恒例の左義長

お正月の伝統的な民俗行事左義長が、今年も一月十四日公文名で行われました。左義長の起りについては以前にも一度触れたことがあり



ますが、平安時代の貴族の正月遊びに「毬杖(ぎつちよう)」と言う杖で毬をホッケーのように打ち合う遊びがあり、小正月(一月十五日)に宮中の清涼殿の東庭で青竹を束ねて立て、その上に扇子や短冊などを添え、陰陽師が謡いはやしながらかこれに焼いたという行事があり「毬杖(ぎつちよう)」と呼ば

結ぶことから「三毬杖(さぎちよう)」と呼ばれていました。これが民間に伝わり、庶民文化の広まった室町時代から現在の形になったとされています。しかし「左義長」という字があてられたわけはよく分かりません。その年飾った門松や注連飾り、書き初めで書いた物を持ち寄って焼き、その火で焼いた餅を食べればその年の病を除くと言われて何百年も続けられてきた貴重な民俗行事です。前の年から藁などの材料を貯めておいたり、冷たい雪の中で孟宗竹を切り出して組み上げたり、火の始末にも心を配ったりするなど、なかなか手間暇のかかる行事ですが、これからは守り続けていきたいと思います。



平成二十五年新会員の加入について

頼成在住で昭和二十四年四月二日から二十五年四月一日の間に生まれられた方(小学校の昭和三十五年卒業生) 頼成地区高齢者の大切な互助親睦団体です。ぜひ加入されるようお勧めしましょう。

